

広報いんざい市長室

山崎山洋



先日、東日本大震災被災者を対象とした職員採用面接試験のため、宮城県仙台市に行きました。試験翌日は、印西市出身で南三陸町自然環境活用センター所長の横浜康継さん(理学博士)のお骨折りで、宮城県本吉郡南三陸町を視察させていただきました。

仙台市から北に約 80 km に位置する南三陸町に向かう途中、海岸線を通りましたが、防風林だったと思われる松の太木が根こそぎ倒れていて、津波のおそろしさを初めて目の当たりにしました。

南三陸町は、昭和 35 年 (1960 年) 5 月 24 日に、チリで発生した地震による津波 (チリ地震津波) の被害にあい、それに基づく津波対策を施していました。しかし、その対策をはるかに超える津波が、3 月 11 日の地震によって発生し、8 月上旬の段階で死者 550 人、行方不明者 437 人、建物被害 3,300 棟で、罹災率 62% の甚大な被害を受けてしまいました。

上の写真は、骨組みだけになってしまった南三陸町防災対策庁舎です。報道などで、この建物が津波に襲われた時の状況はご存じかと思います。周辺にはまだがれきが残し、ここに街があったのかと疑うほど荒涼とした状態でした。そのような風景は、被災された方々の計り知れない絶望感、喪失感や悲しみを感じさせますが、「拾った命、町民のために全力を尽くす」と復興へ向かい陣頭指揮を執る佐藤仁町長をはじめ、被災しながらも笑顔で対応していただいた町職員のみなさんの姿は、再建への強い意志と希望に満ち満ちていました。わたしも市民のみなさんと共に、南三陸町の復興を応援します。

9 月 1 日は防災の日。市では本年度と来年度の 2 カ年で、「印西市地域防災計画」の修正を行います。東日本大震災の反省点を改善し、市民のみなさんからの意見公募などを実施しつつ計画の修正作業を進めますので、より良い計画を策定するためご協力をお願いします。

下水道への早期接続にご協力を
下水道は、市が工事を行っただけでは意味がありません。みなさんに使用していただいてこそ、自然を守り、生活環境を改善することができのです。
下水道が使用できるようになった区域は、下水道法などに基づいて市が公示します。この

水洗便所改造貸付金
市では水洗化を促進するため、くみ取り便所や単独浄化槽の水洗化改造工事を供用開始から 3 年以内に行う場合、25 万円を限度として無利子で貸し付ける制度を設けていますので、ご相談ください。
指定下水道工事店
トイレの水洗化などの工事



要望などを行いました。
山崎会長は、森田県知事に対して、「県が主導して、県および沿線自治体が北総線の運賃値下げに向けた諸問題と実現手段を調査研究し、実現するための首長間協議の場を設置すること。また、成田スカイアクセスが開業し、成田国際空港と都心が直結されたことなどにかんがみ、北総線と密接な関係がある沿線市の協議の場への参加」について要望しました。
本協議会では、今後とも北総線の運賃問題について、取り組んでいきます。
企画画策課交通政策室 (☎内線 475・476)。

「下水道の日」は、昭和 36 年 (1961 年)、著しく遅れている下水道の全国的な普及 (当時の普及率はわずか約 6%) を図る必要があることから「全国下水道促進デー」として始められました。
また 9 月 10 日は、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである二百十日を過ぎた二百二十日が適当であるとされたことから、この日を定めました。

9 月 10 日は「下水道の日」

下水道

生きもののすべての

いのちのわ

(宅内排水設備工事) は、市が指定した工事店 (印西市指定下水道工事店) でなければ施工することができません。
工事が不完全だと、においが家の中にもつたり、排水管が詰まったりといった問題が起

ります。排水設備の接続・補修は必ず指定工事店に依頼してください。
指定工事店の名簿は下水道課で配布しています。
☎下水道課工務管理班 (☎内線 786・787)。

北総線運賃問題対策協議会

森田千葉県知事に要望活動

印西市・白井市の首長・議長で構成する「北総線運賃問題対策協議会」(会長・山崎印西市長) は、去る 7 月 28 日、千葉県庁を訪れ、森田県知事に対して

「地域福祉計画」地区座談会を開催します

市では、平成 18 年度に策定した地域福祉計画について今年が最終年度に当たるため、平成 24 年度からの新たな計画を現在策定しています。

計画策定のため、みなさんから広くご意見をいただくために、地区座談会を開催します。地域の課題やみなさんが安心

◎「地域福祉計画」地区座談会の日程表◎

時間	午前 10 ～ 正午	午後 2 時 ～ 4 時
9 月 17 日 (土)		ふれあい文化館
9 月 18 日 (日)	文化ホール	小林コミュニティプラザ
9 月 24 日 (土)	フレンドリープラザ	サザンプラザ
9 月 25 日 (日)	ふれあいセンターいんば	本埜ファミリア館



▲只津氏



▲穴澤氏



▲豊田氏



▲松下氏

民生委員・児童委員に 4 人を委嘱

8 月 1 日付けで、民生委員・児童委員に次の 4 人が委嘱されました (敬称略)。

◎木下・小林地区：松下吾朗 (上町第 1 の一部担当)

◎木下・小林地区：豊田八雄威 (別所、宗南、鳴沢担当)

◎大森・永治地区：穴澤義典 (中の口、西埜原担当)

◎ニュータウン中央北地区：只津晴子 (木下 2 丁目的一部担当)

民生委員・児童委員は地域社会の福祉増進を図るため、市内の各地区に配置されている、地域でもっとも身近な相談・支援者です。お気軽におたずねください。

☎社会福祉課厚生班 (☎内線 256)。

シリーズ・心の道標 ㊸

「薬物と病気について」

☎社会福祉課障害福祉班 (☎内線 268)

芸能人や著名人が「覚せい剤」などを所持・使用し、逮捕される事件が後を絶ちません。「覚せい剤」は、いうまでもなく違法薬物であるため、使用・所持をすると刑事司法手続きにより処罰されます。しかし最近では、若い世代で「合法ドラッグ」が使用されることが問題となっています。

「合法ドラッグ」でも定量を超えて使用すると「乱用」となり、それを続けていると薬物をやめたくてもやめられない状態の (アルコールに特に多い)、コントロールが不能な「依存」という状態になってしまいます。「中毒」は、急性と慢性に分けられますが、薬物中毒が治療 (ちゆ) しても、薬物依存は変わらないということを認識しなければなりません。

薬物依存症者の特徴として、病という意識がなく、病であることを否認するといわれています。薬物依存は、「気合や根性」で何とかなるものではありませんし、依存を治す「薬」もありません。病気として認識し、「治療」と施設 (ダルク) や断酒会などでのリハビリが重要です。

市では、社会福祉課障害福祉班で保健師・精神保健福祉士が相談に応じます。